

京都教育大学フォーラム 2019

# 大学と学校現場をつなぐ 「プロジェクト型学習」の 試み



2019.12.21



13:30 ~ 16:45  
(受付 13:00 ~)

会場：キャンパスプラザ京都・第1講義室  
京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939

参加無料

対象：学校教員、教育委員会関係者、教員養成系大学・学部関係者、学生など

## 【プログラム】

- 13:30 開会あいさつ  
細川 友秀 (京都教育大学長)
- 13:40 趣旨説明  
清村 百合子 (京都教育大学教授)
- 14:00 基調講演  
田島 充士 (東京外国語大学准教授)  
「大学の学びは社会に出て役に立つのか：  
学問知と実践知との緊張関係」
- 14:50 話題提供  
井谷 恵子 (京都教育大学副学長(学生生活・国際交流担当))  
「学生プロジェクト『e-Pro』の取り組みから見た  
学生の学びと課題」  
佐藤 克敏  
(京都教育大学教授・6年制教員養成高度化コース主任)  
「6年制コースの『教員インターン実習』と『教  
職実践研究』の連携」  
相澤 伸幸 (京都教育大学教授・学長補佐 (IR 担当))  
「卒業生のフォローアップ調査から見た本学の教  
育成果と課題」
- 15:35 休 憩-----
- 15:45 パネルディスカッション  
「プロジェクト型学習」を通じた学生の育ちとは？
- 16:40 閉会あいさつ  
岩村 伸一 (京都教育大学理事・副学長(総務・企画担当))
- 16:45 閉 会

## 【趣 旨】

現在、学校教育現場では「問題解決力」や「協働的な学び」など新しい教育のあり方が模索され、教師自身の教育観や授業観の転換が求められている。しかしながら、次世代の教育を担う本学学生をみても、小・中学校等で自身が経験してきた教育スタイルから抜け切ることのできない学生も多い。そのため、養成段階において、学生自身が問題解決型学習やプロジェクト型学習などの新しい学びを経験していることがこれからの教員養成大学にとって必要になると考える。

そこで今回のフォーラムでは、教員養成大学において「プロジェクト型学習」とは具体的にどのような取り組みなのか、またそこで学生はどのような力を身につけているのかを探ることを目的とし、教員養成大学における「プロジェクト型学習」の試みについて、基調講演および話題提供をしていただく。

フォーラムを通して、学生の有機的な新しい学びを実現するためにはどのような理論的枠組みをもつべきなのか、またそれを実現するための具体的な方法について手がかりを得ることを期待する。

主 催：京都教育大学  
後 援：京都府教育委員会・京都市教育委員会

〈問い合わせ先〉  
京都教育大学研究協力・附属学校支援課  
研究協力・センター機構支援グループ

TEL：075-644-8242  
E-mail：kenshien@kyokyo-u.ac.jp

※個別の支援（ノートテイクや移動補助等）が必要な場合は、  
11月28日（木）までに上記までご連絡願います。



国立大学法人  
京都教育大学  
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION